

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

● 100万人参観者運動を!

'84年3月来館者数	8,015名
通算1ヵ月平均来館者数	4,938名
当月1日平均来館者数	308名
通算来館者数	464,223名

防ぐ手だてのあるいまだから

山川 新二郎

三十九年前(一九四五年)七月の末、空から無数の蝶が躍るように、ビラが降ってきました。単機東京上空を旋回するB29が撒いたようです。……右(無条件降伏)以外の選択は迅速かつ完全なる壊滅あるのみ」の文章は今から見れば、原爆保持をほのめかしているとも思えますが、当時私たちがこれを原爆投下の予告とは受け取りませんでした。憲兵と警官は身体検査までして、市民から一枚残らず取りあげました。数日後、八月六日広島、九日長崎に原爆が落されました。

米・英の要請に応じたソ連の対日参戦が間近かに迫り、日本の敗北がもはや明白になったとき、ソ連に先んじて原爆を完成した米国は、戦後対ソ優位を誇示する脅しとして当時二ヶしかなかった原爆を投下したのでした。

三十年前(一九五四年)三月一日、ビキニ水爆実験の警戒水域を遠く東へ一八〇キロの洋上にあつた焼

津のマグロ漁船第五福竜丸の甲板に白い灰が積もり、二十三人の乗組員が被曝、無線長の久保山愛吉さんの命を奪いました。

この三度の被曝は、いずれも原爆にやられるという予感とか自覚のない状態での被曝という共通点があります。残念ではあるが、防ぐ手だてを持ってない時代での被曝でした。

しかし今は違います。第五福竜丸ビキニ被曝をきっかけに盛り上った核廃絶の運動が、全世界に広がりました。米ソの核抑止論や均衡論が平和に役立たないことを見破り、止めどのない核軍拡をきっぱり拒否する可能性を信じて連帯を強めつつある状況があります。

とはいえ、一方では危険も増しています。トマホークとSS20に象徴される空前の核攻撃力の日本周辺での配備、展開は、誰が見ても分かるように、米ソ有事の際には、日本が必ず核攻撃を大量に受けることとなります。偶発核

戦争の危険増大も見逃がせません。防ぐ手だてのなかった時代ではなく、防ぐ手だてのある時代に生きている私たちは、成りゆきにまかせて、大屠殺に甘んじるわけにゆきません。

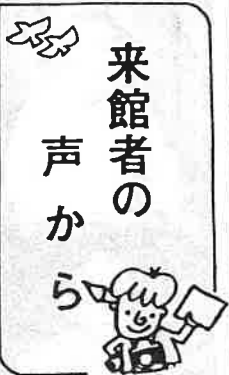
ビキニ被曝、第五福竜丸のことも知らない世代が多くなりました。若い多くの人々に、もっともっと知ってもらい、防ぐ手だてのあることを自覚してもらおうことが、今一番大事な気がします。

第五福竜丸の保存修復、ビキニ水爆資料館が建設されようとしています。

若い人々が訪れ、語り合う反核・平和の聖地になるでしょう。広島、長崎、焼津、東京夢の島がしっかりと結びつき、廿世紀中には核廃絶をなしとげたという足跡を歴史に刻みたいものです。

(長崎総合科学大学船舶工学科教授・長崎市市民懇代表世話人・平和協会評議員)

来館者の声から



今日は修学旅行最後の日。見学してなぜかおもしろいというよりおもしろくなった。人間はこの世に幸せになるために生まれてくるはずなのに、どうしてこのような悲惨な死をむかえねばならないのか。人間がつくったもので人間が死んでいく。私たちはどんなことをすればいいのか。

この写真や文章を見て読んだ後の、この気持ちを絶対忘れてはならないと思う。涙を流して見た写真を、読んだ文章を心の中にしっかりと残しておこう。私はかならず今日のこの日を忘れずにいたい。このいかりを忘れずにいたい(山形県高二中・Y.S.)

ふねの人がいるよう

わたしはいま、ふくりゅう丸をみた。みると、くぼ山さんやそのほかのふねの人たちが、いるようなきがした(埼玉・木村ゆみ)。

※

第五福竜丸が改修されるとい話を聞き、その前の姿を見ておこりと親子三人で来ました。水爆のおもしろさとともに核実験などの世にあってはならないことだと子供に伝えるために(横浜・T)。

※

いままです学校で核や原爆について取り組んできました。おもしろいです。くるしいです。日本中の人々がここをおとづれ、いろいろな感想をもつでしょう。その思いを日本ではなく世界へうったえなければならぬ(上尾市・O)。

※

原水爆によるさまざまな事件がよくわかった。その時の人々はどうも苦しみを味わったのか。私はつらい。二度とこんなことはくり返さないように世界中で話し合えばいいと思う。この船もそうしないと浮かばれないと思う。私の心

※

私は友だちといっしょに船をさわったぞ。しゃんとくらべて船がきたないぞ。それでも船にのりたかった。また来たい(平井小・たけし)。

に痛くさみこまれたような気がする(藤田かおり・12才)。

※

「人間を返せ」の詩をよんで、ひ害にあつた人々の気持ちがよくわかった(内堀友幸・12才)。

※

船を見て大きいことにおどろいた。それと共に今まで自分の内面で感じていた第五福竜丸、原水爆と入つてくるような気がした。この感じを伝えていかなければならぬ(大東文化大・M・S)。

※

最初組の先生が「おいまっしるぶね」を読んでくださった。それから図書かんへまた本を借りて、弟にも読んでかかせました。それからふくりゅう丸を見たいなと思いい見たところこんなひどかったとわかった(島崎絵美・10才)。

※

手を動かし、のうを働かせることができる人間、火を使い、はつめいもすることが出来る人類。その人間が兵器を使い、一歩使い方をかえると今度は兵器が人類をほろぼしはいてしまふんだろうと思つた(伊藤美栄子・常子10才)

編集後記

◆展示館で働くようになって、初めて与えられた仕事が「福竜丸だより」の宛て名書きだった。毎月、宛名書きを続けていると、いつしか賛助会員の方の名に親しみを感ずるようになる。集会などでお会いすると初対面なのになつかしさを覚えるから不思議である。事務の合理化は夢の島にもすすみ、宛て名書き自体、なつかしいものになってしまった。

◆改めて会員の方の名を見ると、そうそうたる著名人が多い反面、一般の人が少ないことに気づく。展示館の見学者の大多数をしめる一般の人の中からも会員が広がることを、「たより」の愛読者が増えることを考えていきたい。

◆これまで「たより」の編集を担当していた森山明子さんが、四月末で平和協会の仕事を離れることになりました。「毎日、船を見ていたのでこれから淋しくなる」――長崎出身の彼女、これからも何かの形で「平和」の問題とかかわっていくことでしょう。新しい場での活躍を期待したい。(は)



ビキニの閃光から30年 第五福竜丸全乗組員の軌跡

— 毎日新聞静岡支局の記者にきく —

乗組員とその後

*名前の次の数字は年齢 敬称略

- ① 斎藤 明59 鹿児島(屋久島)漁業
- ② 大石又七50 東京(大田区)クリーニング店経営
- ③ 山本忠司56 愛知(蒲郡市)水産高校機関科勤務
- ④ 見崎吉男54 アパート・総菜屋経営
- ⑤ 小塚 博52 静岡(相良町)農業
- ⑥ 見崎 進57 静岡(島田市)レストラン経営
- ⑦ 久保山志郎53 岐阜(大垣市)同人服縫製
- ⑧ 鈴木 隆54 東京(渋谷区)外構建設
- ⑨ 安藤三郎53 大分(津久見市)マグロ船主
- ⑩ 高木兼重50 大分(津久見市)貨物船乗務
- ⑪ 池田正徳51 静岡(焼津)運送会社勤務
- ⑫ 増田裕一48 静岡(大井川町)ハウス栽培
- ⑬ 吉田輝雄54 静岡(大井川町)ボリング会社勤務
- ⑭ 服部竹次56 静岡(焼津)無職
- ⑮ 岡井久吉52 愛知県(蒲郡市)水産試験場・試験船舶長
- ★取材を拒否された人たち
- 半田四郎52 静岡(清水市)
- 増田謙之介54 静岡(焼津市)
- 細根久雄48 静岡(焼津市)
- 平井 勇51 静岡(藤枝市)
- ★連絡不能
- 鈴木順三50 関西方面
- ★死亡した人たち
- 久保山康吉 昭29年9月23日死亡
- 川島正典 昭50年4月11日死亡
- 増田三太郎 昭54年12月2日死亡

「三〇年前、水爆実験という思いもかけぬ出来事に遭遇した第五福竜丸の乗組員は今何を思っているのか。事件は彼らのその後、静岡版は「被ばく三〇年・第五福竜丸事件の周辺」として「全乗組員」の軌跡を追った。東京から屋久島まで一人ひとり乗組員を訪ね歩いた川井龍介、斗ヶ沢秀俊の両記者に取材の感想をうかがった。

— 連載を終えて如何ですか？ —

斗ヶ沢 反響があったのがうれしかった。コピーして生徒の学習資料とした先生もいたとか。

— いつ頃から準備を？ —

斗ヶ沢 企画は昨年十月。十一月末から川井が九州・東京、僕が東海を担当、年が明けて県内を二人で回りました。

川井 当初第一部は「いまビキニは」というテーマで現地に行く予定でしたが本社の許可がおりず中止、とても残念でした。

斗ヶ沢 奇遇ですが、三〇年前の焼津の支局員がいまうちの支局長なんです。読売の安部さんのスクープがこたえたようです。

— 取材の御苦労は？ —

斗ヶ沢 全般的に県外の人の方が話に応じてくれ、県内の人はど取材が難かかったですね。

川井 大石さんの娘さん、高木さんの息子さん、しっかりしていますね。自分の父親が特殊な経験をした、それがどう後子どもたちにどう引き継がれているか、関心を持っています。

斗ヶ沢 三月一日焼津の集会に久保山さんなどは心労のため欠席しましたね。二〇件もの取材が集中したそうです。夜中、テレビライトが夢にできて目がさめちゃうというんです。マスコミの一員として申し訳なかったと思います。

私の心に残りつづいても残りつづき 修学旅行の見学あいつぐ

「心に残りつづいても残りつづき」の修学旅行の見学あいつぐ。この「寸志」です。——代表の女生徒が「福竜丸のとの保存のために」とのし袋をさした。四月二十六日、修学旅行で展示館を見学した岩手県西根第一中学校のさわやかな八〇名の生徒たちだった。

四月、展示館を修学旅行で訪ねた中学校は十二校。和歌山・滋賀と毎年訪れる学校のほかに遠く山形・青森・岩手・秋田・長野からの中学校が増えた。山奥の学校から東京へ、国会・新聞社・博物館とたくさん見るべきものの中で第五福竜丸をとらえ、船と語り「決して今日のことを忘れない」と卒直に感想をのべあう中学生。山形の中学の校長先生は自ら生徒に何回も説明をくり返した。五月には船のふるさと和歌山から五つの中学校が訪れる。

また、四月二十一日、江東区内の労働組合のよびかけで海上から自衛艦の調査と第五福竜丸を見学する会が開かれ約一三〇名の青年が江東区古石場の船宿から三隻の釣船に乗船。軍需工場石川島播磨重工のドックに入港中の自衛艦の護衛艦「しらね」など黒い船を調査し、展示館近くのあけぼの水門に上陸、夢の島の白い平和の船を見学した。のち石川島の労働者と交流、核の学習会となった。

マーシャルから代表も

四月二十五日、沖繩での国際会議に参加するマーシャルの代表エディソン・アンジャインさんがア

第五福竜丸平和協会第59回 理事会決定事項(概略)

- ◆一九八四年四月九日(月)午後〇時半〜二時半 ◆本郷・学士会分館 出席理事 三宅泰雄・松山義夫 齊藤鶴子・猿橋勝子・本多喜美
- (1) 第58回理事会議事録承認
- (2) 活動報告(略)
- (3) 当面の活動方針 (イ) 資料室建設募金の強化、次回理事会に建設構想等具体案を提案 (ロ) 船体修理の促進 (ハ) 写真集の作製を急ぐ (ニ) 59年度第一回の展示替の準備 (ホ) 7月30日、ビキニ水爆被災30周年記念シンポジウムを開く(学生会館)、平和協会・原子力問題情報センター等との共催(6月11日、午後〇時半から日比谷公園・松本楼で展示館開設八周年記念レセプションを開く(会費三千円)(ト)同終了後評議員会を開く(伊和88年度決算・監査を行なう(5月28日理事会) 予定承認)
- (4) 昭和59年度予算(略)
- (5) 議事録署名名人選任

メリカの代表らと展示館を見学した。マーシャルの被ばく者を撮りつづけている桐生広人さんの案内に「私の兄弟の写真もあり大勢の人が関心を持っていてくれることがわかり心強い」と一つ一つなづき、「福竜丸を見、原水爆の被害者への認識を新たにし胸迫る思いだ」と感想ノートにサイン。アンジャインさんはビキニ水爆の被ばく者元ロンゲラップ村長ジョン・アンジャインさんの弟である。

ビキニの写真も展示

五月十日から四日間、江東区綜合区民センターで「トマホークと戦争を考える展」(同実行委など)が開催。広島・長崎・東京大空襲

・沖繩戦・七三一部隊、ベトナム等の写真と共に、トマホークの模型と解説、水爆実験の厚子雲、ビキニの被ばく者の写真20点余も展示された。

資料室建設へ募金

武藤宏一追悼集編集委員会からこのたび資料室建設のために二十五万円が贈られた。追悼集「沈めてよいか第五福竜丸」の普及によって生まれた資金で、武藤さんの願いを更に生かしたいと贈られたもの(残部僅少・送料共千六百円・平和協会まで)。

また四月五日、いぬいとみこさんから十数冊の児童書と共に売上を建設募金にと、サイン入りの「とびうおのぼうや」はびょうきです(八百円)二十五冊が贈られた。

賛助会員になって下さい

ビキニ水爆被災30周年にあたり是非平和協会の賛助会員になり、第五福竜丸の保存と展示館の発展に協力して下さいと、入会の訴えが新たに作られ、四月、二回にわたり約三百人の人々に郵送、いま返事を待っているところ。読者のみなさんも是非会員に！また知人を御紹介下さい。